

学校教育のアンケート調査（前期）の結果について

前期末には、本校学校教育に関するアンケートにご回答いただきありがとうございました。保護者、児童、教職員のアンケート結果をご報告いたします。

- 1 学校教育目標とアンケート
本アンケートは学校教育目標の実現に向けて、前期の教育活動の反省とその反省を生かした対策を見出すために、「児童」「保護者」「教職員」の3側面を実施しました。
アンケートは学校教育目標に繋がる質問を作成し、「保護者」「児童」には子ども（自分自身）の姿を、「教職員」は指導について振り返ることができるよう構成しています。
質問と学校教育目標は次のように関係づけています。
後期については、2月頃実施し、来年度に生かしていく予定です。

【学校教育目標】 自ら学び 心豊かに たくましく生きる 子どもの育成

NO	質問内容（児童・保護者用）	捉える視点
1	進んで発表し、楽しく学習できたか	学校教育目標「自ら学ぶ」について、「進んで」や「がんばって」などの取り組み姿勢から捉えた点と考えました。
2	友達の話をよく聞き、楽しく学習できたか	
3	漢字を覚えたり、本を読んだり、文を書いたりすることにがんばって取り組んだか	
4	計算や図形（かたち）の学習にがんばって取り組んだか	
5	図書室などの本を進んで読んだか	

【心豊かに】

NO	質問内容（児童・保護者用）	捉える視点
6	友達を大切にし、仲良く過ごすことができたか	学校教育目標「心豊かに」について、自分や友達に対する行動から捉えたいと考えました。
7	よいことと悪いことをきちんと判断して行動できたか	
8	自分から進んで挨拶することができたか	
9	清掃や係の仕事をもちって取り組むことができたか	
10	身の回りの整理や忘れ物に気を付けて生活することができたか	

【たくましく生きる】

NO	質問内容（児童・保護者用）	捉える視点
11	手洗い、うがい、歯磨きなどをきちんとできたか	学校教育目標「たくましく生きる」について、日ごろの生活習慣から捉えたいと考えました。
12	早起き早起きに心がけ、朝ごはんをきちんと食べてから登校できたか	
13	休み時間など、外で元気に遊ぶことができたか	
14	交通安全や不審者に気を付けて登下校したり、進んだりできたか	
15	好き嫌いをなく給食や食事をとることができたか	

NO	質問内容（児童・保護者用）	捉える視点
16	携帯電話は約束を守って使っているか	携帯電話の使用状況を確認しました。

2 アンケート結果について

(1) 質問項目の集計結果（数値）

ほとんどの項目で「たいへんよい」「ややよい」を合わせた回答が8割～9割を占めています。

「13 図書室などの本を進んで読んだか」「10身の回りの整理整頓」の項目は他と比べて肯定的回答の割合が低いです。後期に改善できるように声掛け等を繰り返し、指導していきます。詳しい結果は、裏面にグラフ形式で掲載しております。

(2) 自由記述より

後期の学校評価での自由記述には、たくさんの励ましの言葉をいただき、ありがとうございました。今回の自由記述では、主に「稲毛小よいのやくそく」「学校生活」「学習」について、ご意見いただきました。

【稲毛小よいのやくそく】の内容について】

- 「図書室へは図書の本以外行つた記憶がなく、その他の時間（休み時間など）に利用してよいのか否か、子どもが把握できていない。」「大走、スロープを子どもが理解できていない。」
- 「通学帽子がない小学校もある中で、必要性がわからない。」
- 「名札は6年間でカトラリーを統一して買い替えるの回数減らすのはどうか。」
- 「お守りをランドセルの外につけていても注意されない。宗教の自由の観点から直接注意できないなら記載する必要があるのでは。」「外遊びを強制するかわりなような文言は理解を生むのではないか。」
- 「室内に必要な校庭や体育館では、暴れたり、ふざけたりしているのか。」などのご意見をいただきました。
- 「稲毛小よいのやくそく」に書かれている言葉が低学年も理解できるように見直ししていく、子どもからの意見を聞き、加除修正をしていきます。また、学年学級でも折に触れ、約束の確認、内容の理解に努めていくようにします。学校評議員の地域の方にもご意見を求め、検討していきます。
- ・通学帽子や名札については、現在、再検討を始めています。児童、保護者、地域の方にもご意見をいただきながら、より良いものにしていきたいと思ひます。

【学校生活について】

- 「一定の時間まで如何なる理由があつても、席を立たないように指導している。トイレなどやむを得ない事情に對しての指導は違うのではないか。」
- 「優しい言葉遣いや相手を思いやる声かけの内容などを学校でも意識できるように取り組みが多くなるという「できない」には、一生懸命に取り組んでいるが、良いところを助長する取り組みが少ないように感じる。もっと子供の個性を大切にしたい。」などのご意見をいただきました。

→ トイレなどで席を立つ場合については、配慮をすることを全職員で共通理解をしました。

・子どもの人権について、大人も子どもも同じと理解できるよう、教育課程の中の人権教育の位置づけを再度確認していきます。「ふわふわことば」「ちくちくことば」の学習や帰りの会での「良いことみつけ」などの実践を積み重ねていきます。

【学習について】

「身体を動かす時間をもつて抽出してほしい。暑い時の運動不足が気になるので取り組みしてほしい。」
「インフルエンザなど、感染症が流行した場合は、コロナ禍のときに制限したオンライン授業の実施なども考えて欲しい。」「漢字や算数に対する苦手意識が強いので、楽しい授業をしてほしい。」などのご意見をいただきました。

→ この夏はWBG T指数が高く運動制限がある日が増えました。グラウンドや体育館、プールでも活動することができないことがありました。暑い時の活動について考えていかなければならないと思います。
・オンラインについては、個別の対応はしておりますが、全体で行うことがありませんでした。学期閉鎖のときは、休業を取るためのお休みとしてオンラインは行いませんが、オンラインが効果的な学習には積極的に取り入れていくことができるよう考えていきます。
・すべての学習において、「楽しい授業 わかる授業」を目指していきます。

【その他】

「運動会の応援合戦は、徒競走などとは違い、勝敗の基準があいまい。勝敗は、決めなくてもよいのではないかと。もし、続けるのであれば、せめて判断基準を示し、なぜ勝ちなのか説明してほしい。」
「学校の様子子どもに話を聞くことでしかわからないので、アンケートを取るなら、わからない回答に含めてほしい。」などのご意見をいただきました。

→ 子ども達の声も聞きながら、学校教育として必要なことは何か、また、応援合戦の勝敗の基準、勝敗の発表の仕方など再検討していきます。
・アンケートの取り方を検討してまいります。

ご家庭からのご意見、ありがとうございました。今回いただいたご意見をもとに、改善や検討を行い、今後の学校生活がより充実するよう努めてまいります。引き続き、ご理解とご協力をお願いいたします。ありがとうございました。